

2020年度事業計画の概要（小規模事業経営支援事業費補助金）

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業計画	主たる対象者	事業評価				備考	
				目標①		目標②			
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。また、課題解決提案・経営革新への積極的な支援を実施する。 特に巡回指導は4人の経営指導員により、多忙な小規模事業者にとっては訪問することで時間的短縮が図られる上、出向いて聞くまでもない様な些細な相談を受けることができる。	・巡回窓口指導実企業数440社（経営指導員4人×110件） ・巡回窓口指導延件数1,652件（経営指導員4人×413件） ・課題解決提案件数40件（経営指導員4人×10件） ・経営革新承認件数3件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数		指標	課題解決提案件数	
記帳継続指導	正しい経理と記帳慣行を身につけ、経理管理や納税の適正化を促す。	前期源泉指導、年末調整、決算、確定申告、消費税申告、記帳指導 指導対象企業数 90事業所 指導延べ回数 1,500回	小規模事業者	指標	指導対象企業数		指標		
講習会等	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。具体的には月1回の定例税務相談を始め年末調整、確定申告の勉強会及び集合受付、経営に関する講習会を開催する。	集団指導 開催回数 8回（経営3回、税務1回、経営革新2回、労働2回） 参加者数（小規模事業者） 120名 個別指導 開催回数 47回（金融 12回、税務22回） （取引3回、法律3回、社会保険3回、経営一般2回、知財2回） 参加者数（小規模事業者） 265名	小規模事業者	指標	集団指導参加者数		指標	個別指導参加者数	
若手後継者等育成事業	小規模事業者・中小企業者は大企業とは異なり、自己変革に繋がる機会が少ない。この状況を変えるため小規模事業者等の自己研鑽、人格教養、経営能力の向上に資する機会を設けて、企業の発展と地域社会の繁栄に貢献する。併せて、会員相互の連携と親睦を図る。	各種研修会、講演会、セミナー事業の実施、地域の催しへの参加、小規模事業者等の交流事業の実施、これに伴う打ち合わせ会議資料の作成と運営を行う。（青年部会員数 59名、女性会員数 62名）	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	青年部会員数		指標	女性会員数	
若手後継者等育成事業「全国会長研修会」【青年部】	地域のために取り組む高い志をもった各地域の会長、次年度会長などが一堂に会する全国会長研修会に参加することは、地域経済を担うリーダーとしての資質の向上と意識の高揚につながる。また、各地の青年部の課題等に係る意見交換は、青年部組織の活性化と一層の充実・新たな人脈づくりにもつながる。	開催日：令和2年11月20日（金）～21日（土） 場所：大分県大分市 参加予定者：竹田隆憲（2年度会長）、 2年度副会長（3年度会長予定者） 計2名 参加人数：2名 目標数値：満足度80%	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	参加者数		指標	満足度	
若手後継者等育成事業青年部地域振興事業「こども職業体験」【青年部】	子供達に対する教育は教科学習やスポーツが中心であり、体験型教育においても伝統産業や科学実験が大部分を占め、「職＝仕事」に関する教育・体験が非常に少ない為、小学生の将来なりたい職業について、選択肢が限られてきているのが現状である。 この小学生頃のキャリア教育は、現在問題となっているニート対策や子供の職業意識の醸成、地元企業への就職定着促進などに繋がるものと考える。 青年部では、自分の職業・職種を紹介し体験する機会を提供し、仕事の厳しさ、働くことの素晴らしさ、物づくり・サービス業の面白さを伝えることで、子供達に将来の仕事に対する「夢」の幅を広げ、更に、日本（大府）を支える人材育成をはかりたいと企画するものである。また、青年部にとっても会員企業のPRになるとともに、プレゼンテーション能力を高めるなど資質の向上に資するものである。	4月～7月：企画内容打合せ 8月：会場レイアウトなど打合せ 9月：参加企業打合せ 10月：初旬・事業周知 ：下旬・事業開催 参加人数：300名 目標数値：満足度80%	小規模事業者等における現経営者、若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	参加者数（各回）		指標	満足度	
若手後継者等育成事業「女性経営者に求められる資質向上講演会（終活セミナー）」【女性会】	高齢化が進む日本において、本女性会にも高齢の会員が多く在籍する。特に、商工業者においては、事業継承と共に自身の終活の両方に取り組む必要があり、負担は大きい。若手会員にとっても、将来的な課題でもある。そこで、女性会として終活セミナーを開催することで自身の今後について見つめ直し、残りの人生設計や事業継承に役立ててもらおう。 また、女性会会員に講師を依頼することで会員の事業紹介も兼ねて開催する。	5月：女性会総会後の懇親会にて内容と趣旨説明し、参加者を募る。 7月：講演会開催 参加人数：30名 目標数値：満足度80%	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	参加者数		指標	満足度	

事業名	事業概要（背景・目的）	事業計画	主たる対象者	事業評価				備考
				目標①		目標②		
商店街振興事業 （げんき商店街推進事業）	小規模商店の現況はいうまでもなく厳しい状況にあり、中心市街地の衰退は著しい。このような厳しい状況を少しでも打破するためには、魅力ある商店づくり（個店対策支援）が必要であり、これにより街にも活気が生まれ、ひいては、地域活性化が図られる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおぶdeまち歩き」・・・共通テーマで共同事業を行う（目標参加事業所 30事業所） ・「おおぶふれあいゼミナール」・・・自主組織で行う（目標参加事業所 50事業所） ・「大府あきんど塾」・・・繁盛事業所を目指すテーマで行う（目標参加事業所（者） 35事業所） 	小規模事業者	指標	参加事業所数		指標	
				目標数値	115	実績数値	/	目標数値

※記載内容についての資料は、各団体において整備しています。